

# 単元名「ライフキャリアプランを立てよう」(第3学年 自己実現にむけて)

## ■ 本事例のポイント

1. 体験や外部講師と関わる機会を取り入れることで、中学卒業後の進路選択だけでなく、それ以降のライフキャリアに注目できるようにした。
2. 生徒同士の学びを共有しやすい環境を整えることで、他者の考えを参考にし、学習を調整しやすくした。

## ■ 単元の目標

ライフキャリアプランの作成を通して、様々なライフイベントについて理解し、自らの進路やキャリアについて考えるとともに、よりよい自己実現に向けて自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

## ■ 単元の指導計画(8時間)

### 第1小単元

「ライフイベントとは何か考えよう」

- ・すごろくを用いて、35歳までのライフキャリアを体験し、ライフイベントについて学ぶ。
- ・偉人たちのライフイベントを調べ、なぜその選択をしたのか、どんな考えがあったのか理解を深める。

### 第2小単元

「自分のライフキャリアプランを考えよう」

- ・自分たちの将来を見据え、50歳までのライフキャリアプランを立てることができる。
- ・自分が何を大切に生きていくか考えることができる。

## ■ 本時の概要

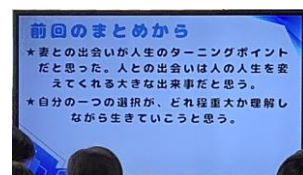
めあて ライフキャリアプランを考え、進路を深く考えよう。

	15歳	20～25歳	25～29歳	30～35歳	36～
	進学	4年生大学進学	マイホーム購入	出産	
例	<p>○高校卒業後、進学 進路選択を悩んで、自分らしい進路を探して入学を決定。 ○15歳 高校3年生 進学希望を伝えるが、親は「もう少し、お父さん、お母さんへの感謝を伝えること」に重点を置く。進学希望を伝えることに、お父さん、お母さんの理解を得る。</p>	<p>○20歳 学校の先生として働く。大学4年生、就職も「自分の人生は多くの先生に支えられてきたから、止まない。そんな人にならなければ、就職先を探さなければならない。」 ○24歳 3月に結婚。そろそろ25歳までに結婚したいという目標があった。その達成、お父さん、お母さんのサポート。</p>	<p>○25歳 家を建てたい。 自分の父親が元金なので、家を建ててもうことが一番の目標。そのために、お父さん、お母さんのサポートを受ける。</p>	<p>○30歳 子供がいたらいいな。結婚や出産に、子供の将来を考えている。う。夢のマイホームが実現したら、結婚に毎日頑張りたいと思うから。 ○32歳 育児休暇をもらう。子育ては自分一人では無理。お父さん、お母さんのサポートを受ける。</p>	

イメージしづらい生徒が、ライフキャリアプランを立てやすいように、ライフイベントを選んで作成する形式にしました。



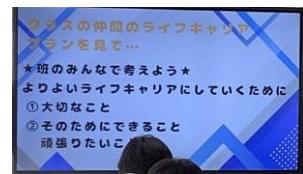
- ① 前時のまとめからライフイベントを選択する上で何が大切か考える。



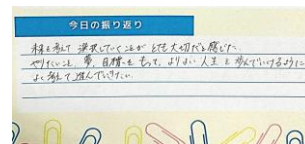
- ② 自分でライフキャリアプランを作成していく。



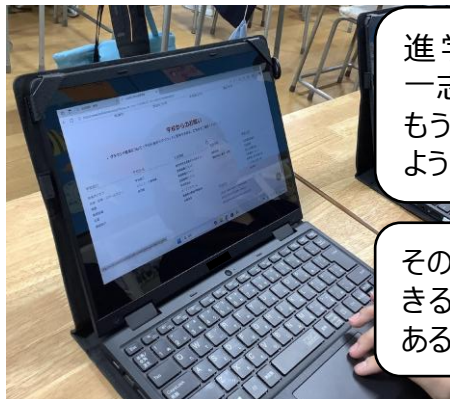
- ③ 仲間の考えを参考に、よりよいライフキャリアプランを考える。



- ④ 今日の振り返りをワークシートに記入する。



## ■ 学習調整をしている子供の姿



進学に向けて第一志望校について、もう一度調べてみよう。

その学校で取得できる資格って何があるのかな？



より良いライフキャリアにしていけるためには

大切なこと

将来の目標を定める  
将来の幅を広げる  
お金の使い方  
知識を深めよう

そのためにできること、頑張りたいこと

色んな職業を見て、興味を持つ  
勉強をする  
お金の使い方を考える



やっぱり大切なのは、将来を見据えて、今何をするか考え、実行することだね。

今日の振り返り

他の人を見て、みんな夢が大きいと思った。  
現実を見るのも大切だが、大きい希望を持つのも  
大切なことだ。

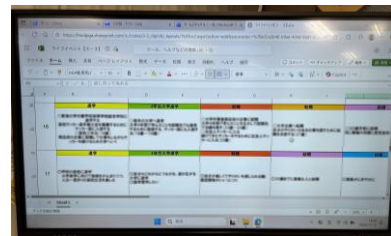
他の人の考えを参照し、新たな気づきが生まれたね。



## ■ 指導と評価の工夫

### ① 電子黒板上で、活動の様子を共有

- \* 共有ファイルのため、生徒は他者の考えを知ることができ、自分の考えのアップデートに生かせる。
- \* 例を示しながら指示ができ、即座に支援や評価ができる。



### ② 目的に応じて学習形態を選択

- \* ライフキャリアプランを作成する際に、最初は個人で考え、次に自分で取り組む場を選択できるようにする。
- \* 「よりよいライフキャリアにしていけるために」を考える場面では、積極的な意見交流を促すため、グループで考えるようにする。



### ③ 本時の振り返りによる見取り（ワークシート）

- \* 考えが深まったことや新たな気づきが生まれたことを記入する。

### ■ 成果（○）と課題（▲）

- 中学3年生という、多くの生徒にとって、初めて進路を真剣に考える時期に、更にその先まで見据えたライフキャリアプランを考える機会となった。その際、他者との交流から、自身のライフキャリアプランを見つめ直す生徒もいた。
- ▲ 中学生の段階で、30歳～50歳のイメージをもつことはまだ難しそうであった。その時期を見据えた単元構想も考えていきたい。